

協力者・協力機関(50音順)

宮内庁書陵部
国立印刷局お札と切手の博物館
国立公文書館
国立国会図書館
福井県文書館
福井県立図書館
福井県立歴史博物館
The New York Public Library



リサイクル選性(A)
この印刷物は、ご廃棄の際へ
リサイクルできます。

福井県・東京都公文書館共催

東京文化財ウィーク2016参加企画展



東京府知事 由利公正と その時代

展示構成

- I 維新政府での活躍
- II 東京府知事由利公正
- III 東京府文書にみる由利公正



福井県・東京都公文書館

編集・発行 平成28年10月 東京都公文書館 〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-20-1 TEL03-3707-2604 <http://www.soumu.metro.tokyo.jp/01soumu/archives/>

東京府知事 由利公正と その時代

表紙：東京府知事の由利公正
三岡丈夫「由利公正伝」、大正5年(1916) 国立国会図書館ウェブサイト
表紙：東京銀座新花王満開之図(一部加工)
明治期 東京都公文書館蔵



維新政府での活躍

明治維新で活躍した人物はと問われたならば、誰の名前が浮かぶでしょうか。西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允などの名前をあげる方が多いことでしょう。しかし、かれらとともに明治新政府に貢献し、その根幹となる財政基盤を生み出したのが、福井藩出身の由利公正なのです。

このコーナーでは、幕末福井藩で幽閉塾居の身であった由利が新政府に登用されることとなったいきさつや、明治史上に残した輝かしい功績を紹介します。



参与時代の由利公正
三岡丈夫「由利公正伝」大正5年(1916)
国立国会図書館ウェブサイト



太政官札
明治元年(1868)
国立印刷局
お札と切手の博物館蔵
由利公正の発案により
発行された全国通用紙幣

由利公正は、文政12年(1829)福井藩士三岡義知の嫡男として、越前国足羽郡(現福井県福井市)福井城下に生まれました。

幕末期に横井小楠の薫陶を受けて頭角を現し、福井藩の財政再建を担い、維新後においては五箇条の御誓文の起草に参画し、太政官札を発行するなど、新しい時代を切り拓く人材として活躍しました。

明治4年(1871)7月、第四代東京府知事に就任した由利は、短い任期の間に不燃都市建設を目的とした銀座煉瓦街の計画を推進するなど、先進的な施策を打ち出しました。

東京都公文書館所蔵東京府文書(重要文化財)と福井県内に残された貴重な資料を通して、福井の生んだ偉人由利公正の足跡をたどっていただければ幸いです。

五箇条の御誓文の起草過程

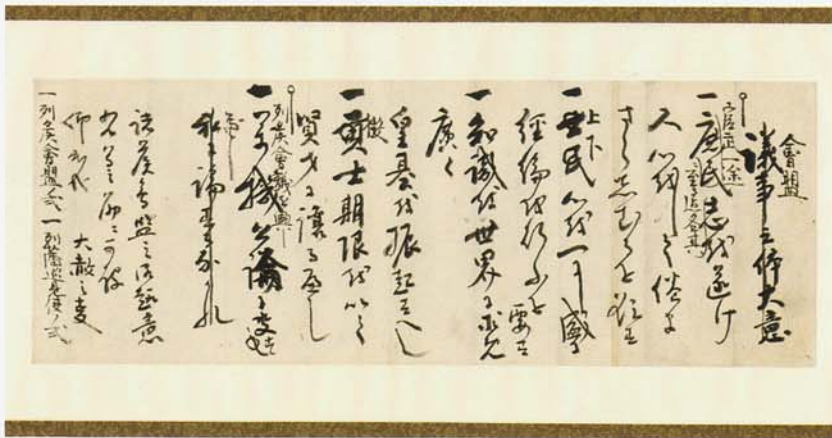
慶応4年(1868)3月14日、明治天皇は京都御所の紫宸殿において、新政の5カ条の基本政策を神前に誓いました。これが「五箇条の御誓文」です。

御誓文は、同月初旬に木戸孝允が国是確立の神誓儀式の挙行を建議したことに由来しています。木戸は、誓文の草案「誓」を起草しています。

木戸の「誓」の下地となったのが、高知藩出身の参与福岡孝弟による「会盟」です。「会盟」は同年1月征討軍派遣にあたり列藩の結束を図るために諸侯会盟の議がおこり、その綱領として用意されたものです。そして、この「会盟」の原案となったのが、由利が起草した「議事之体大意」です。

新政府の財政を任された由利は、会計基金(御用金)調達にあたり、まず天下に大義を明にして方針を示すべきであると主張します。そして、もし自分に方針の起案が命じられたらどう答えるかと考え記したものが、5カ条からなる「議事之体大意」でした。

由利の記した5カ条は、福岡、木戸により修正加筆され、明治日本の国是となった「五箇条の御誓文」へと結実しました。



議事之体大意
由利公正 明治元年(1868) 福井県立図書館蔵
明治政府の国家方針「五箇条の御誓文」の原案となった。

II 東京府知事由利公正

明治2年(1869)2月、病氣療養のため福井藩に戻った由利は、5月に参与職を辞しました。その後は、藩主松平茂昭の意向を受け、藩の財政整理に尽力していましたが、明治4年7月、第4代東京府知事に任ぜられます。

由利の府知事在任期間は、約1年間と極めて短いものでしたが、その間にいくつかの重要な政策を打ち出しています。中でも、明治5年2月の大火を受け、府下一円を不燃都市とすることを企図し、まずは焦土とした銀座で煉瓦街建築に取り組んだことはよく知られています。

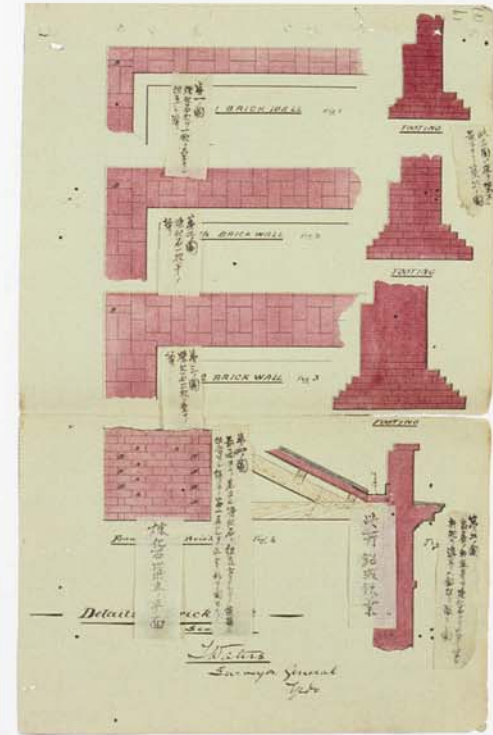
このコーナーでは、由利府知事の功績を紹介するとともに、徐々に欧米文化が移入されつつあった当時の東京の雰囲気をご覧ください。



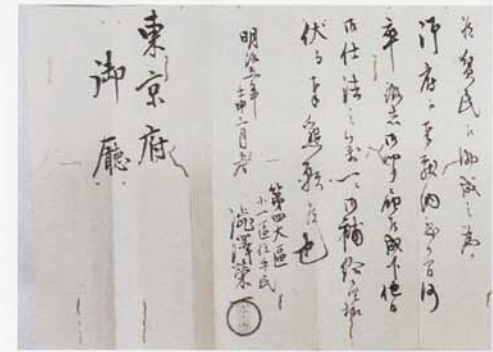
「銀座街」建築学会編「明治大正建築写真集」
昭和11年(1936) 建築学会 国立国会図書館ウェブサイト
煉瓦街建設当初の様子を写したものである。



Main Street, Tokio From The New York Public Library
銀座煉瓦街写真を、日下部金兵衛が着色したものと



「家屋建築方図面 ウォートルズ原文」建築事務御用留・甲(第一課)
明治5年(1872) 東京府文書【重要文化財】東京都公文書館蔵



沈沢栄一施金願の件
(大火被災者への寄付を東京府へ申し出た書簡)「京橋以南焼焼一件」
明治5年(1872) 東京府文書【重要文化財】東京都公文書館蔵

III 東京府文書にみる由利公正

従来由利をとりあげた伝記や研究は、そのほとんどが、幕末維新期を対象としています。したがって、府知事辞任後の由利の活動については、あまり知られていないというのが現状でしょう。

しかし、明治42年(1909)81歳で没するまで、元老院議員、赤坂区会議長、貴族院議員、史談会会長などの要職を歴任し、時には自ら事業の経営を試みるなど、一時も休むことなく活動を続けています。

このコーナーでは、東京都公文書館が所蔵する東京府文書の中から、由利に関係するいくつかを選び、従来あまり知られていなかった新たな一面を紹介します。



「永代借地権抹消に関する件(京橋区明石町51番地)「キャザリン、キャロライン、ブース」」雑件、
明治5年(1872) 大正8年文書付属書類
東京府文書【重要文化財】東京都公文書館蔵
ローマ字で「Yuri Kimimasa」のサインがある。



「赤坂区会議事録」
「第1種(区会議録)・決算報告議事録・第1課」
明治22年(1889)
東京府文書【重要文化財】東京都公文書館蔵
由利は初代赤坂区会議長をつとめた。



「由利公正牛の為地所擇借願」既決簿・第4号・上局取決之部(租税課)
明治9年(1876)
東京府文書【重要文化財】東京都公文書館蔵
由利は洋牛数十頭を所有していた。